

オーディオファイル や 映像ファイル への 書き出し方

(Logic ProX の場合)

■ オーディオデータ (のみ) の書き出し方

1. 書き出す範囲を指定する (リPEAT範囲の指定と同じ) ※後部を少し長めに指定する。
2. ファイルメニュー > バウンス > 「プロジェクトまたは選択範囲、、、」を選ぶ 「バウンスの画面」が表示される。
3. バウンスの画面で、書き出すオーディオファイルの質を以下のように設定の上、「OK」ボタンを押す。
 - ・用途: 「PCM」のみにチェックした後、「PCM」をマウスで選択する。
 - ・モード: 「オフライン」にする。「リアルタイム」だと書き出しするのに曲長と同じ時間がかかる。
 - ・ノーマライズ: オン
 - ・ファイルフォーマット: Wave (非圧縮音声ファイルフォーマット) ※ aiff でも可能
 - ・分解能: 16ビット (通常「量子化ビット数」といい、デジタル化の際の音量認識の精度を示す)
 - ・サンプルレート: 44100 (デジタル化の際の波形認識の精度を示す。44100回/1秒で認識)
 - ・ファイルタイプ: インターリーブ (L. R. の2チャンネルを含む1個のファイルの意味)
4. 保存画面で「書き出した時のファイル名」と、「書き出す場所」を指定する。
(「バウンスボタン」を押して、オーディオファイルの書き出し完了)

【仮提出時の書き出しについて】

ファイルのデータサイズを抑えるために、オーディオの質を「PCM」ではなく、今回は以下のように設定してください。

- ・用途 : M4A : AAC (チェックマークを入れた後、マウスで「M4A : AAC」欄を選択すること)
- ・エンコーディング : Advanced Audio Codec (AAC)
- ・ビットレート : 160 kbps

■ QuickTime ムービーとしての書き出し方 (自作音楽付き動画ファイルの書き出し方)

1. 書き出す範囲を指定する (リPEAT範囲の指定と同じ) ※後部を少し長めに指定する。
 2. ファイルメニュー > 「ムービー」> 「オーディオをムービーに書き出す」を選ぶ。すると保存画面が表示される。
 3. サウンド設定画面で、動画に付加して書き出すサウンドの質を以下のように設定する。
 - ・フォーマット : AAC (エーエーシー、Advanced Audio Coding、MPEG4 でのオーディオ書き出し)
 - ・サンプルレート : 44100
 - ・ビットレート : 160 kbps
- (「ファイル名」と「書き出し場所」を指定した後、「保存」ボタンを押して書き出し完了)